



FIX NEO Premium 4030 EF II

user manual

Fisheye

目次

<はじめに>	
●安全にお使いいただくために	3
●特長・仕様	4
●各部名称	5
<使用方法>	
●付属パーツの取付	6
●バッテリー 装填手順	6
●ドームレンズの着脱	7
●光ファイバーケーブルの接続	7
●充電方法	8
●操作方法	10
●高温時保護モード	12
●セーフティモード	12
●仕様変更について	13
<メンテナンス>	
●Oリングのチェック	14
●浸水テスト	14
●使用後の手入れと保管方法	15
●もし浸水した場合	15
●オーバーホール	15

取扱説明書について

- ・本書の内容は、予告なく変更することがあります。
- ・本書の内容について、誤り、記載漏れ、印刷ミス、不明な点がありましたら、弊社もしくはお近くの販売店までご連絡をお願いいたします。
- ・本説明書の一部もしくは全ての転載、コピーなどは個人でご使用になるもの以外一切認められません。




はじめに

安全にお使いいただくために

- この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- 誤った使い方をされますと、故障や水没の原因となり、修理不能になる場合があります。
- ご使用の際にはこの説明書に従い必ず点検、テストを行ってください。
- 分解、改造、修理に伴う事故などに関し、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関しての補償は致しかねます。

ここに表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 危険	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
 警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

危険

- バッテリー接点部同士を、金属板や針金などで接続しないでください。感電や発火の原因になります。
- 本製品を改造・分解しないでください。発熱や発火の原因になります。
- ナイトダイビングや洞窟など暗い水中でのご使用時には、必ず予備のライトをお持ちください。バッテリー切れなど、万一何らかのトラブルが起きた際、パニックにつながる原因になります。

警告

- 本製品を乳児、幼児、小さなお子様など、本製品の取扱いの注意事項などについて理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。
- ライト本体にバッテリーを入れたまま保管しないでください。ガスや液の発生により、人体に影響を及ぼす危険があります。
- 本製品をご自分の目や他の人の目に向けて照射しないでください。失明や視力障害など重大な障害を引き起こすおそれがあります。
- 本製品の発光部を床やテーブルに伏せた状態で点灯させないでください。また、燃えやすいものの近くで点灯させないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- 必ず専用のバッテリーとチャージャーをご使用ください。他の製品を使用すると本製品を破損させたり、ガスが発生して危険な状態になったりする場合があります。
- 濡れた手でバッテリーやチャージャーを触ると感電する危険性があります。バッテリーは十分に乾いた手で取り扱ってください。

注意

- 本製品は100mの水深まで耐えられるように設計されています。それ以上深い場所で使用されたり、それより浅い深度においても衝撃や圧迫を加えますと破損したり、浸水したりするおそれがあります。
- 浸水や故障などの事故を防ぐためにこの説明書を良くお読みになり、ご使用前後に必ず点検とメンテナンスを実施してください。
- 気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、破損したり防水機能を損なったりするおそれがあります。
- 砂や塵、ほこりなどが多い場所でライト本体を開閉すると、防水部分に異物が付着し、防水性能が損なわれることがあります。
- 飛行機で移動する場合は、本体のリングを外しておくことをおすすめします。気圧の影響でライトヘッドの取り外しができなくなったり、またその状態で無理に取り外そうとすることで製品を破損してしまうおそれがあります。
- 本製品より異音や異臭がする場合や煙が出た場合は、バッテリーを取り外し、お求めになった販売店にて修理をご依頼ください。
- 万一、浸水が発生した場合、速やかに電源を切り、バッテリーを取り外してください。濡れているバッテリーに直接触れると感電の危険性がありますので取扱には十分ご注意ください。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、変形などの原因になりますので絶対に使用しないでください。
- 万一、浸水が発生した場合、すぐに使用を中止してください。また、浸水している場合、本製品内部の圧力が高くなっていることがあります。ライト本体を開ける際、水が噴き出したり、ライト本体が跳ねたりすることがありますので、十分ご注意ください。

特長・仕様

- 中心部から周辺部までムラのないフラットな照射
- 高演色Ra90と色温度5000KのLEDモジュールによる美しい色再現
- フラッシュ光に連動して瞬間光を照射するEFモード※を搭載
- ドームレンズの採用により120度の超ワイド照射を実現
- 電源ボタンの操作のみで4段階の光量調節が可能
- 光量調節ボタンにより100ステップの微調節も可能
- 着脱式のコンパクトなバッテリーを採用。航空機内への持ち込み可
- 見やすいカラーLCDパネルに操作情報を表示
- オーバープレッシャーリリーフバルブ装備
- 高温時、内部基板を保護する高温時保護モードを搭載
- 万一の浸水でも電子基板まで水が到達しにくい保護構造
- SOSモード、点滅シグナルモードを搭載
- 電源OFF時の光量設定を記憶するデフォルト機能
- 緊急用の残電量をセーブするセーフティモードを搭載

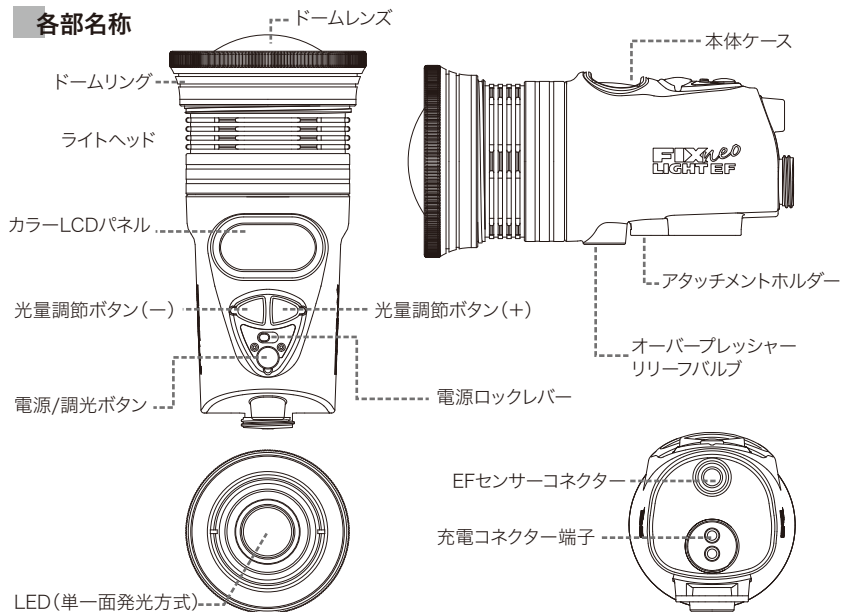
※エレクトロニック・フラッシュモード：光ファイバーで接続されたカメラの内蔵フラッシュ光やLED光に連動し、あらかじめ設定した光量の白色瞬間光を照射する機能です。

製品名	FIX NEO Premium 4030 EF II
最大光量	4000 ルーメン (EF モード) / 3000 ルーメン (ワイド)
水中照射角	120 度 (ドームあり) / 100 度 (ドームなし)
色温度	5000K
演色性	Ra90
最大光量時連続点灯時間*	50 分
最大光量時瞬間光照射回数	3500 回
陸上点灯可否	不可
充電時間	3 時間
付属バッテリー容量	3600mAh**
本体材質	耐腐食アルミ合金、強化樹脂
耐圧水深	100m
サイズ	φ66 x L138mm
陸上重量	435g
水中重量	132g
ライトヘッドカラー	ステルスブラック・フロストシルバー
付属品	Li-ion バッテリー 3600L、NEO チャージャー、リアチャージブラグ II、リアチャージキャップ II、NEO ドームレンズ、NEO ドームリング、NEO ガングリップ、NEO YS ベース、ウルトラアダプター、GoPro アダプター、Loc-Line アダプター、リストランチャー、スベア O リング、O リングリムーバー、O リンググリス、六角レンチ、固定ネジ

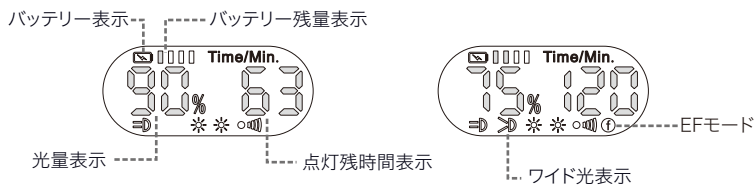
*約 10 分間のセーフティモードを除く

**3400mAh のスベアバッテリーも使用可能です。ただし瞬間光照射回数/連続点灯時間は短くなります

各部名称



LCDパネル表示



- 光量表示 点灯中の光量を1%刻みで表示します
- バッテリー残量表示 残電量を4段階のバーで表示します
- 点灯残時間表示 点灯可能時間をリアルタイムで表示します

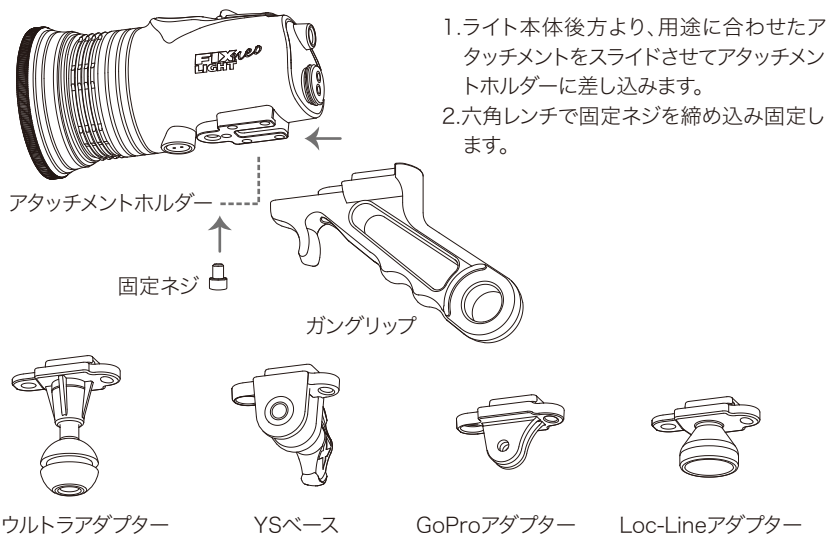


注意

リアルタイムで表示される点灯残時間は、残電量と光量により自動算出される理論値です。この数値は、バッテリーのコンディションや周囲の水温などの使用環境により、実際の点灯可能時間とは誤差が生じる場合があります。

使用方法

付属パーツの取付

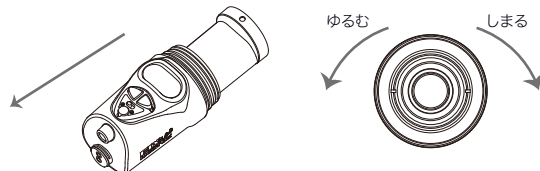


NOTE 各アタッチメントにはリストランヤードが取り付けられます。

バッテリー装填手順

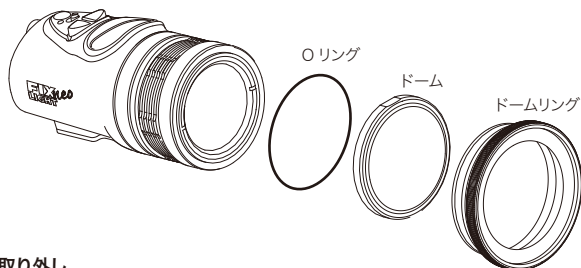
1. 本体ケースをしっかりと持ち、ライトヘッドを反時計回りに回して取り外します。
2. バッテリーの金属端子部に汚れ、水滴などが付着していないか確認します。
3. 本体ケースにバッテリーを装填します。
4. 本体ケースをしっかりと持ち、ライトヘッドを時計回りに回して取り付けます。

*バッテリーの取り外しは逆の手順で行います。



- ⚠ 警告** ●濡れた手や、濡れた環境での作業は感電や破損のおそれがありますので、絶対におやめください。
- ⚠ 注意** ●ライトヘッドを閉める前には、必ずOリングやOリング溝、Oリング接触面にゴミや砂などの付着がないことを確認し、Oリングのグリスアップを実施してください。
- バッテリーを取り出す際、落下にご注意ください。バッテリーの破損だけでなく、ケガなどにつながるおそれがあります。

ドームレンズの着脱



ドームレンズの取り外し

1. ライトヘッドを持って、ドームリングを反時計回りに回して取り外します。
2. ライトヘッドからドームレンズが外れます。Oリングも取り外します。
3. Oリング溝の保護のため、ドームリングを時計回りに回して再び取り付けます。



注意

- ライトヘッドとドームレンズとの間のOリングは簡単に外れるため、紛失しないよう保管してください。
- ドームレンズのOリング溝およびライトヘッドのOリング溝に傷を付けないよう注意してください。

ドームレンズの取り付け

1. ライトヘッドを持って、ドームリングを反時計回りに回して取り外します。
2. ドームレンズのOリング接触面およびライトヘッドのOリング溝に傷や異物がないか確認します。
3. Oリングに適量なグリスを塗布し、ライトヘッドのOリング溝に置きます。
4. Oリングにドームレンズを置き、ドームリングを時計回りに回して取り付けます。

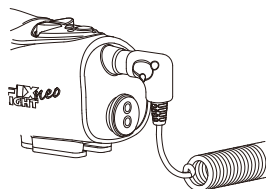


注意

- レンズを取り付ける環境によっては、ライトヘッドとレンズとの空間に湿気を閉じ込めてしまいます。この湿気がドーム内部に結露を発生させてしまい、照射効果に影響を与えてしまうことがあります。ライト本体に浸水のおそれはありません。
- Oリングの不備などにより、ドーム内部に浸水することがあっても、ライト本体に浸水のおそれはありません。

光ファイバーケーブルの接続

本体後部の EF センサーコネクターとカメラの光ファイバーコネクターを光ファイバーケーブルで接続します。コネクター形式は SEA&SEA タイプです。



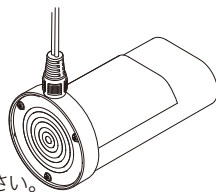
注意

- コネクターに挿入しにくい場合は、コネクター先端のOリングに適量なグリスを塗布してください。

充電方法

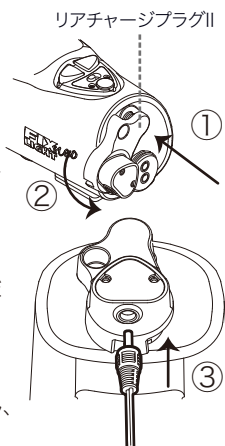
(1) バッテリーに充電

1. バッテリーをライト本体から取り出します。
2. チャージャーのACプラグを電源コンセントに差し込みます。
3. この時、チャージャーのLEDが緑色に点灯することを確認してください。
4. チャージャーのコネクターをバッテリーに差し込みます。
5. チャージャーのLED点灯が赤色に切り替わったことを確認してください。
6. 充電が完了すると、チャージャーのLED点灯は緑色に切り替わります。(最大3時間)
7. チャージャーのコネクターをバッテリーから取り外します。



(2) バッテリーをライト本体に装填したまま充電

1. ライト本体の EF センサーコネクターにリアチャージプラグ II を挿入します。①
2. リアチャージプラグ II を反時計回りに「カチッ」というまでスライドさせます。②
3. チャージャーの AC プラグを電源コンセントに差し込み、チャージャーの LED 点灯が緑色に点灯することを確認してください。
4. チャージャーのコネクターをリアチャージプラグ II に差し込みます。③
5. チャージャーの LED が赤色に切り替わったことを確認してください。
6. 充電が完了すると、チャージャーの LED 点灯は緑色に切り替わります。(最大3時間)
7. チャージャーのコネクターをリアチャージプラグ II から取り外し、リアチャージプラグ II をライト本体から取り外します。



NOTE

バッテリーが満充電の場合、チャージャーに接続してもLED点灯は緑色のまま変わりません。

⚠ 危険

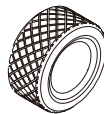
- 充電中はバッテリーやチャージャーが熱を持つことがありますので、絶対に紙や絨毯など燃えやすい物の上で充電しないでください。
- ケーブルを束ねた状態で充電すると、発熱により発火の原因となるおそれがありますので、絶対におやめください。
- 濡れた手、濡れた環境での充電は、感電するおそれがありますので、絶対におやめください。
- 水没した、あるいは水没しているおそれのあるバッテリーを絶対に充電しないでください。

警告

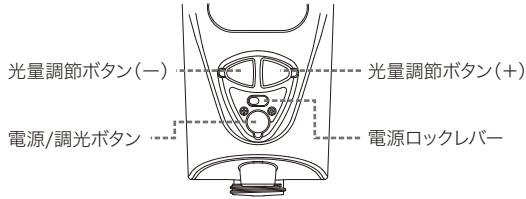
- 充電を開始する前に、必ず充電コネクター端子部に汚れや水滴が付着していないか確認してください。もし汚れや水滴が付着していた場合は十分に清掃してください。製品の故障だけではなく、感電の危険性があります。
- ライトヘッドを下向きに置いて充電する場合は、ライトが点灯していないことを確認してください。
- 充電が完了したら速やかにリアチャージプラグIIを外してください。コンセントに差したまま放置すると、アダプターがショートし、発火の原因となるおそれがあります。
- リアチャージプラグIIをライト本体に接続したまま水中で使用しないでください。リアチャージプラグIIは防水仕様ではありません。
- チャージャーはマルチボルト(100-240V)対応ですが、自家発電のリゾートやクルーズ船など不安定な給電での使用は、異常な高電圧によりチャージャーを破損させてしまうおそれがあります。安全回路内蔵の変圧器を併用されることをおすすめします。

注意

- 振動や衝撃、落下などで充電コネクターからプラグが外れることがないように、安定した場所で充電してください。
- 充電コネクターを差したままの状態では放置すると、過放電状態となり充電ができなくなることがあります。
- ライト本体の充電コネクター端子は、防水機能を備えていますが、使用後に海水が残ってしまうと腐食の原因となります。
- 付属のリアチャージキャップIIIは、充電コネクター端子部を保護・防水します。充電コネクター端子部に海水が及ばないよう、ダイビング中はリアチャージキャップIIの装着を強くおすすめします。
- バッテリーおよびチャージャーを30℃以上の高温になる所や直射日光の当たる所に放置しないでください。



操作方法

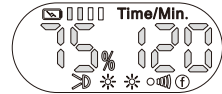


点灯

電源/調光ボタンを1回押すと通常点灯します。

EFモード

通常点灯状態で、電源/調光ボタンを約1秒間長押しするとEFモードに切り替わります。LCDパネルにEFモードを示す(f)が点灯し、光量表示が点滅、約100ルーメンの低輝度でスタンバイ点灯状態となります。



再度、電源/調光ボタンを約1秒間長押しすると、元の通常点灯状態に戻ります。

EFモード表示が点灯します

NOTE

EFモード照射

- EFモードは、光ファイバーで接続されたカメラの内蔵フラッシュ光やLED光に連動し、あらかじめ設定した光量の白色瞬間光を照射します。
- 使用するカメラは、強制発光モードのように必ず内蔵フラッシュが発光する設定にしてください。
- EFモードは連写撮影にも対応しています。ただし連写速度はカメラの内蔵フラッシュの発光間隔に依存します。
- EFモードの瞬間光は、カメラ側の制御による自動適正露出には対応していません。
- 適正露出で撮影するためには、照射光量、ISO感度、絞り値、シャッタースピードを組み合わせ調整してください。
- 水中でスムーズに撮影できるよう、あらかじめテスト撮影などで設定を確認しておくことをおすすめします。
- 適正露出での撮影については、弊社WEBサイトをご参照ください。

■ 電源/調光ボタンによる調光

通常点灯・EFモードともに、電源/調光ボタンを押すごとに、[25%]⇒[50%]⇒[75%]⇒[100%]の順で光量(設定値)が切り替わります。

■ 光量調節ボタンによる調光

通常点灯・EFモードともに、光量調節ボタン(+)を1回押すと、1%刻みで光量(設定値)が増加します。また、ボタンを押し続けると100%まで早送りできます。

通常点灯・EFモードともに、光量調節ボタン(-)を1回押すと、1%刻みで光量(設定値)が減少します。また、ボタンを押し続けると0%まで早送りできます。

■ 消灯

通常点灯で電源/調光ボタンを約2秒間長押しすると、一度EFモードに切り替わったのちに消灯します。

EFモードのスタンバイ点灯状態で電源/調光ボタンを約2秒間長押しすると、一度通常点灯に切り替わったのちに消灯します。

NOTE

本製品は電源OFF時の際、通常点灯時の光量設定を記憶し、次の電源ON時に同じ光量で点灯するデフォルト機能を搭載しています。たとえば50%の光量で消灯すると、次に電源を入れた際も同じ50%の光量で通常点灯します。EFモードのスタンバイ点灯には対応していません。

■ 電源ロック

電源ロックレバーを右側にスライドさせると電源/調光ボタンがロックされます。不用意な誤点灯を防止することができます。

SOSモード

通常点灯状態で、光量調節ボタン(-)と電源/調光ボタンを約2秒間長押しすると、SOSモード*で発光します。*[3回の短い点滅]⇒[3回の長い点滅]⇒[3回の短い点滅]⇒[消灯]を繰り返します。

再度、光量調節ボタン(-)と電源/調光ボタンを同時に約1秒間長押しすると、元の通常点灯状態に戻ります。



点滅シグナルモード

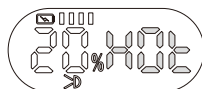
点灯している状態で、光量調節ボタン(+)と電源/調光ボタンを約2秒間長押しすると、点滅シグナルモードで発光します。

再度、光量調節ボタン(+)と電源/調光ボタンを同時に約1秒間長押しすると、元の点灯状態に戻ります。



高温時保護モード

使用中にライトヘッドが55℃以上になると自動的に保護モードへ移行し、光量を最大の20%まで落とします。LCDパネルには高温状態を示す[Hot]が表示されます。高温時保護モードに切り替わった場合は、電源スイッチをOFFにし、ライトヘッドを冷却することをおすすめします。ライトヘッドはたいへん高温になっていますので、素手で触れないなど取扱には十分ご注意ください。温度が45℃以下まで下がると再び通常モードへ復帰します。



注意 ●本製品は陸上で使用できません。陸上では動作確認程度に留めてください。

セーフティモード

バッテリー残量が残りわずかになると自動的に20%まで光量を落とし、バッテリー表示が点滅します。また、点灯残時間[10min]が表示され、カウントダウンを開始します。セーフティモードに移行すると、光量調節およびEFモードへの切り替えはできません。

注意 ●セーフティモードに移行後は、安全のため、速やかに浮上するようにしてください。
●LCDパネルに表示される残点灯時間は、バッテリーのコンディションや周囲の水温などの使用環境により、実際の点灯時間と誤差が生じる場合があります。

仕様変更について

本製品は、ライトヘッドまたはボディを換装することで仕様変更が可能です。ただし組み合わせによっては、各機能に制限があります。換装をご希望の場合は、下記の表にて適合をご確認の上、弊社カスタマーサービス TEL 03-5988-0191 までお問合せください。

FIX NEO ライトヘッド/ボディ機能互換

○:使用可能 △:有償にて使用可能 ×:使用不可

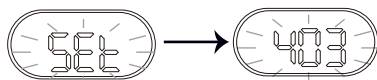
	ライトヘッド								
	単一光ワイド(4030以外)			SWR/SW			4030		
	通常点灯	EFモード	リモコン	通常点灯	EFモード	リモコン	通常点灯	EFモード	リモコン
ボディEF II(黄口ゴ)	○	○	×	×	×	×	○	○	×
ボディDX II(青口ゴ)	○	×	○	○	×	○	○	×	○
ボディDX II(白口ゴ)	○	×	○	○	×	○	□	×	○
ボディDX II(旧タイプ)	△	×	○	△	×	○	△	×	○

△:プログラムの書き換えまたは基板交換が必要です(一部アップグレードが必要な場合があります) □:プログラムの書き換えが必要です

ライトヘッド/ボディ換装後は、以下の手順でプログラムを切り替えてください。

※弊社にて換装作業を実施した製品は出荷時に切り替え済みです。

- 1.電源OFFの状態、電源/調光ボタンを約10秒間長押しします。
- 2.LCDパネルに[SET]が点滅し、数秒後、それまで使用していたライトヘッドの仕様表示が点滅します。
- 3.光量調節ボタン(+/-)を押して、交換したライトヘッドの表示に切り替えます。
- 4.交換したライトヘッドの仕様表示で、電源/調光ボタンを押すと、プログラムの切り替えが確定します。



FIX NEO 仕様表示

表示	LCD	FIX NEO
403	403	Premium 4030
300	300	3000 DX II, 3000 DX
250	250	2500 DX, Premium 2200 DX II, Premium 2200 DX
200	200	2000 DX
120	120	1200 DX S, 1200 DX
SW	SW	1000 DX SW II, 1000 DX SW, 1200 DX SW
SWR	SWR	2000 DX SWR
BLU	BLU	1200 DX BLUE
15S	15S	Premium 1500 DX SWR II, 1500 DX SWR II, 1500 DX SWR

NOTE

●使用中に誤って電源/調光ボタンを長押ししてしまった場合は、もう一度電源/調光ボタンを押すと元に戻ります。

メンテナンス

リングのチェック

FIX NEOライトは専用のリングによって防水機能を維持しています。本体とライトヘッドとの間の2本のリングは、ユーザーによるメンテナンスが必要です。長期間ご使用されない場合は、リングに付属のシリコングリスを薄く塗ってから保管してください。また、リングは1年毎に交換されることをおすすめします。

⚠ 注意

- リングを外す際は、絶対に金属製の鋭利なもの(はさみやナイフ)を使わず、付属の「リングリムーバー」をご使用ください。
- リングの摩擦や劣化を防ぐため、リングの表面に付属のリンググリスを薄く塗布(グリスアップ)します。その際、砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。また、リンググリスが多すぎると、かえってゴミやホコリが付きやすくなりますのでご注意ください。
- リング面に小さな傷やひび割れなどがある場合は、絶対に使用せず、すぐにスペアのリングに交換してください。
- リング溝、リング接触面にも、砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。また、傷やひびなどが無いかもしっかり確認してください。
- リング溝にリングを装着する際、リングがねじれたり、はみだしたりしないようご注意ください。
- リングやリング溝のチェック、グリスアップなどは、ボディの開閉ごとに実施してください。

浸水テスト

本製品の使用前に、浸水テストの実施をおすすめします。水を張った洗い桶や洗面器などに、本製品を水平を保ったまま浸してください。3秒で一度、30秒で一度、3分間で一度、水から取り出して本体ケースを開け、内部に浸水がないことを確認してください。

使用後の手入れと保管方法

1. 使用後は、ライト本体をおよそ10～20分程度、真水に浸けておいてください。また真水の中で、電源/調光ボタン、光量調節ボタンを数回押して、ボタンの周囲についた塩分を洗い流してください。

NOTE

別売りの『FIX メンテナンスキット』に含まれる、塩害防止剤『ソルトアウェイ』をご使用いただくことで、層効果的です。



注意

海水でご使用後、そのまま放置すると細かいすき間などに塩分が残り、乾燥するとその塩分が結晶となり水に溶けなくなってしまいます。結晶化した塩分は時にリングを押し上げ、浸水の原因になりますので、必ず真水に浸けて塩分を洗い流してください。

2. 真水から上げたら、弱い流水で洗ってください。強い水流を一定方向から当てると浸水の原因となりますので、絶対におやめください。
3. 水洗い後は、乾いた柔らかい布などで水気をよく拭き取ってください。直射日光による乾燥、ドライヤーやストーブによる乾燥は、故障や変形、破損の原因となりますので絶対におやめください。
4. ご使用後は、リングにシリコングリスを薄く塗ってから保管してください。リングは1年毎に交換されることをおすすめします。
5. 長時間ご使用されない場合は、高温多湿、直射日光、極端に気温が下がる場所を避けて保管してください。
6. アルコールやシンナー、ベンジンなどの有機系溶剤や中性洗剤は、変形や破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

もし浸水した場合

本製品は、万一、本体内部に浸水してもダメージが最小限で抑えられる構造になっていますが、浸水を確認した場合や浸水が疑われる場合は、速やかに本製品の使用を中止し、弊社カスタマーサービス(Tel.03-5988-0191)までご連絡ください。

オーバーホール

本製品の使用回数に関わらず、1年から2年に一度の定期的なオーバーホールをおすすめします。製品内部にユーザー自身では交換できない防水パーツを使用しています。これらを定期的に交換・メンテナンスすることで浸水事故を防止し、製品寿命を延ばすこととなります。一定期間が経過した製品は、ぜひ弊社カスタマーサービスまでオーバーホールをご依頼ください。

Contents

<Introduction>	
- Safety18
- Features & Specifications19
- Name of parts20
<How to use>	
- Bundled attachments21
- Installation of battery21
- Dome lens22
- Optical fiber22
- Charging method for battery23
- How to operate25
- High temperature protection mode27
- Safety mode27
- Conversion system28
<Maintenance>	
- O-ring29
- Pre-dive29
- Care and storage30
- In case of flood30
- Service30




- Contents of this manual are subject to change without prior notification.
- If you find errors, omissions, misprints or any unclear parts in the contents of this manual, please contact Fisheye or your local supplier.
- This manual may not be reproduced or copied in whole or part for any reason except personal use.

Introduction

Safety

- Please read this entire manual before use.
- Improper use may result in a permanent unreparable damage.
- Perform O-ring and component checks in accordance with this manual.
- Fisheye is not responsible for any accidents resulting from the use, disassembly, modification, or repairs of this product. Fisheye assumes no responsibility for any physical, material, or consequential damage from the use of this product neither specified or implied.

Where the following icons appear, they indicate a particular situational hazard. Pay particularly close attention to the instructions given where these icons appear.

- | | |
|--|--|
|  DANGER | Failure to observe the precautions indicated by this symbol may result in serious injury or death. |
|  WARNING | Failure to observe the precautions indicated by this symbol may result in injury or death. |
|  CAUTION | Failure to observe the precautions indicated by this symbol may result in injury or property damage. |

DANGER

- Do not attempt to charge the battery with any other device than the manufacturer's charger. Use of alternate charging device may cause electric shock or fire.
- Do not modify or disassemble this product. Doing so may cause thermal hazard or fire.
- Always bring back up light source for the battery depleted unexpectedly when night dives or penetration environment.

WARNING

- Do not store this product in a location where children or untrained people may mishandle it.
- Do not store the product with the battery installed to prevent battery off gassing or leaking.
- Do not shine the light directly into your eyes or other person's eyes. Doing so may cause permanent eye damage.
- Do not turn on the light with the light head in direct contact with a surface such as a table or floor. The heat emanating from the light head may cause material damage.
- Do not operate the light near any flammable material to avoid initiating a fire.
- Use only the manufacturer's battery and charger with this system. Alternate or third party battery charging may cause dangerous conditions such as gas outbreak.
- Do not touch the battery or charger with wet hands. Failure to do so may cause an electrical shock.

CAUTION

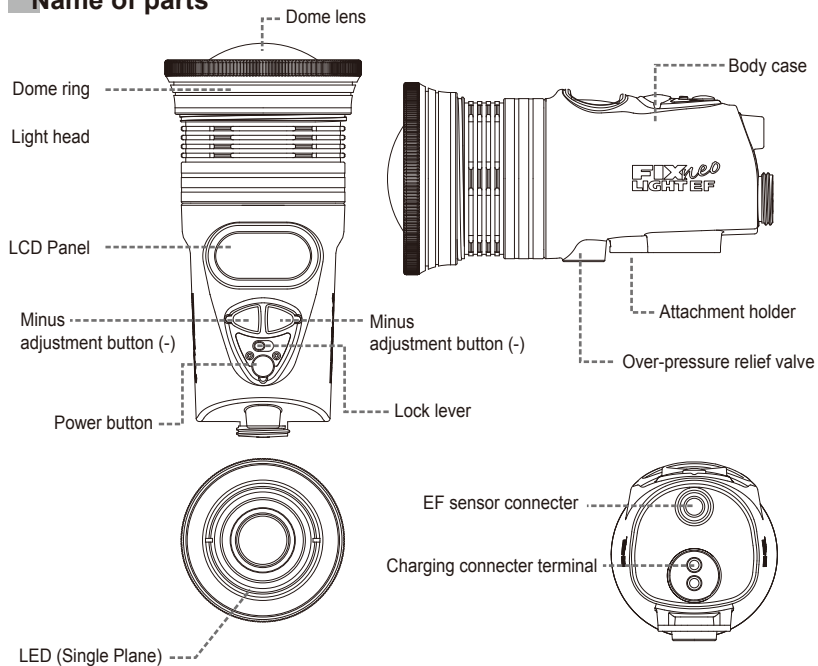
- This product is designed to be used to the depth of 100 meters (330 ft.). Use of this product at greater depths may cause damage or flood.
- Read this manual thoroughly to prevent accidental misuse, water intrusion or damage. Perform inspections and maintenance before and after each use of this product.
- Do not place or store this product in extreme high or low temperatures. Heat or temperature changes may warp the sealing surfaces and cause the light to flood or prematurely deteriorate O-rings.
- Do not open or attempt to seal the light in environments where an excess of sand, dirt, lint, dust, or animal hair are present. These elements and other free floating bodies may breach O-ring sealing surfaces and cause the light to flood or other components to fail to function properly.
- Remove the main O-ring when flying. Due to altitude pressure differential, if the O-ring is not removed, the light head may be hard to open.
- If this product produces a particular noise or emits any odor or smoke, remove the battery and contact your local dealer immediately.
- In the event of a flood, turn off the power immediately and remove the battery. Use caution when handling the battery to avoid electrical shock. Use caution when opening a flooded light. Pressure may be built up inside the light causing the light head to eject from the light body once the light head is loosened.
- Never use any organic solvents such as alcohol, benzene or thinner as they may deform the sealing surfaces of the light.

Features & Specifications

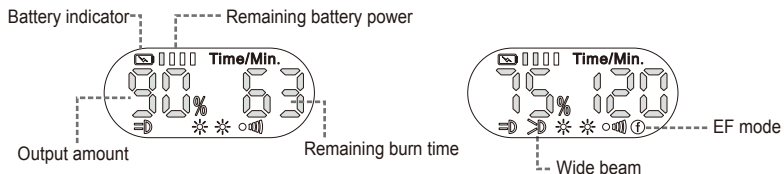
- The light distribution pattern is wide and even without distortions or hotspots.
 - The color reproduction nature of the warm colors with the LED module of high color rendering index Ra90.
 - Installed EF mode* function.
 - 120 degrees super wide beam with dome lens.
 - A simple push button controls 4 levels of brightness (25, 50, 75, and 100%).
 - Two dimmer switches can fine tune brightness from 1-100% in 1% increments.
 - Removable and compact battery. The FIX light batteries are approved for airline travel.
 - The data displayed on the color LCD panel makes information easy to read.
 - An over-pressure relief valve is built in.
 - High temperature production mode prevents internal damage to the light if the light becomes too hot during use.
 - The protection structure to avoid moisture to internal electronic parts. This feature minimizes the risk of damaging critical components due to flooding.
 - SOS signal and blink mode are pre-programmed.
 - Default function memorizes the light output setting when the power is turned OFF.
- *Electronic flash mode: This feature utilizes a sensor which receives a signal from the camera's flash via a fiber optic cable and emits short duration flash.

Product Name	FIX NEO Premium 4030 EF II
Luminous power	4000lm(EF)/3000lm(Wide)
Beam angle	120deg(w/dome)/100deg(wo/dome)
Color temperature	5000K
Color rendering index	Ra90
Continuous burn time	50mins
Flash light irradiation	3500times
Usability in air	N/A
Charge time	3 hours
Battery capacity	3600mAh
Materials	Aluminum alloy, Reinforced resin
Depth rating	100m
Size	66dia x L138mm
Weight (in air)	435g
Weight (underwater)	132g
Color	Stealth Black/Frosted Silver
Bundled items	Li-ion Battery 3600L/NEO Charger/Charging Plug II/Charging Connector Cap II/NEO Dome Lens/NEO Dome Ring/NEO Gunrip/NEO YS Base/Ball Adapter/GoPro Adapter/Loc-Line Adapter/Wrist Lanyard/Spare O-ring/O-ring Remover/O-ring Grease/Allen Key/Lock Screw

Name of parts



LCD panel display



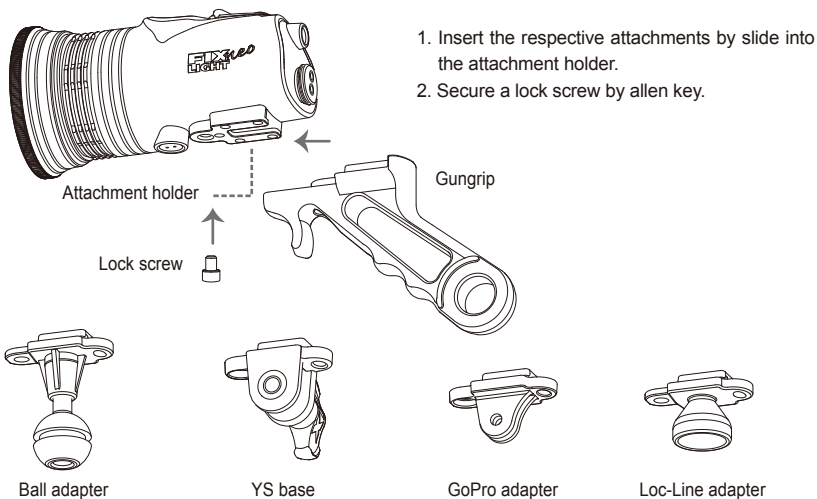
- Output amount The current output amount is displayed in increments of 1%.
- Remaining battery power The current remaining battery power is displayed in 4 level bars.
- Remaining burn time The current remaining burn time in minutes.

CAUTION

The remaining burn time displayed is an estimated value calculated from the remaining battery power and the current light amount output. Please note that the remaining burn time display may differ from the actual burn time due to the battery condition or the circumstances such as the surrounding water temperature.

How to use

Installation of attachments

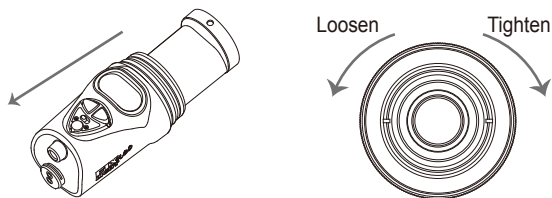


NOTE Using wrist lanyard is recommended to prevent of loss.

Installation of battery

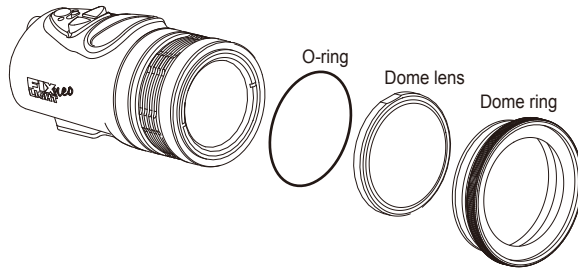
1. Hold the body case firmly and remove the light head by rotating counter-clockwise.
2. Make sure that no dirt or water drops on the metal terminal of the battery.
3. Tilt the body case and install the battery.
4. Hold the body case firmly and set the light head by rotating clockwise.

*The procedure is reversed in unloading.



- ⚠ WARNING** - Do not work with wet hands or under wet circumstances due to the risk of electric shock or damage.
- ⚠ CAUTION** - Make sure that no dust, sand etc. on the O-ring, O-ring groove or O-ring contact surface and grease the O-ring before set the light head.
 - Take care not to drop when uninstal the battery. It may cause not only damage to the battery but injuries.

Disassembly of the dome lens



1. Hold the light head firmly and remove the dome ring by rotating counter-clockwise.
2. Take off the dome lens and the O-ring.
3. Set the dome ring once again for protect the O-ring groove.



CAUTION

- Do not lost the O-ring. It drops off carelessly.
- Do not make scratch to the O-ring groove.

Attaching of the dome lens

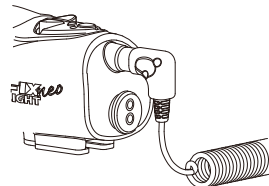
1. Hold the light head firmly and remove the dome ring by rotating counter-clockwise.
2. Make sure that there is no sand or small lint on the O-ring groove and the O-ring contact surface.
3. Apply a thin coat of the bundled O-ring grease to the O-ring. Then put it on the O-ring groove.
4. Put the dome lens on the O-ring, and attach the dome ring by clockwise rotating.

NOTE

- In the case of the dome lens installation, moisture may be shut in in the space with the light head and the lens. This moisture becomes the dew condensation inside and may affect the irradiation. But there is no fear of the flood.
- Even if may be flooded in the dome lens inside, do not worry about the NEO.

Connecting of the optical fiber

Connect the EF sensor connector of the NEO and the optical fiber connector of the camera housing in an optical fiber cable. The type of the connector is SEA&SEA.



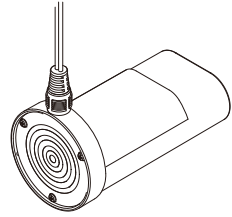
NOTE

- When it is hard to insert it in a connector, apply a thin coat of the O-ring grease.

Charging method for battery

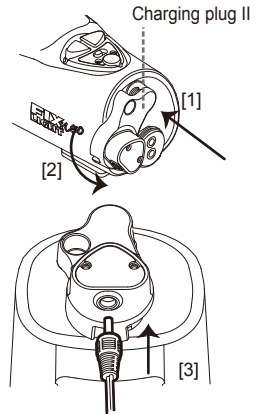
(1) Direct charge to the battery

1. Uninstall the battery from the light.
2. Insert the AC plug of the charger to the power outlet.
3. Make sure the LED of the charger turns green.
4. Put the connector of the charger into the battery.
5. Make sure the LED turns to red.
6. The LED turns to green again when charging is complete.
(Charging time is 3 hours maximum)
7. Pull out the connector from the battery.



(2) While the battery is installed the light

1. Put the guide plug of the charging plug II into the EF sensor connector. [1]
2. Slide the charging plug II counterclockwise until clicked. [2]
3. Insert the AC plug of the charger to the power outlet.
4. Make sure the LED of the charger turns green.
5. Put the connector of the charger into the charging plug II. [3]
6. Make sure the LED turns to red.
7. The LED turns to green again when charging is complete.
(Charging time is 3 hours maximum)
8. Pull out the connector from the charging plug II, then remove the plug.

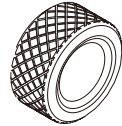


NOTE The LED remains green when the battery is fully charged.

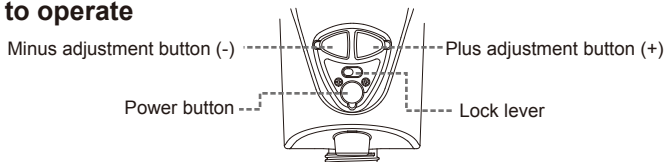
- ! DANGER**
- Do not charge on paper, carpet or anything flammable as battery and charger may become hot.
 - Do not charge with coiled cables as heat build-up may result in fire.
 - Do not handle with wet hands or charge under wet conditions to avoid electric shock.

- ! WARNING**
- Make sure that no debris or water drops on the charging connector terminal before charging. If there is any dirt or water drops, clean it thoroughly. It may cause not only damage to the product but the risk of electric shock.
 - Do not leave charger plugged in when the charging plug II is connected with the charger. Fire may be caused from a short circuit of the adaptor.
 - Do not use underwater while the body charging plug II remains connected with the light. The charging plug II is NOT waterproof.
 - Do not charge any batteries that have been flooded, or are suspected of having water intrusion.
 - The Charger is multi-volt compatible (100–240V), but using at a resort or on a cruise ship with in-house power generation may cause highly unstable voltage output and result in damage to the charger. It is recommended to use a converter with a built-in safety circuit.

- ! CAUTION**
- Charge in a stable position to avoid the plug being disconnected from vibration, impact shock or dropping.
 - Do not unplug the AC adapter from the power outlet while the charging plug is still inserted. Doing so may cause over discharge and may not allow the battery to take a subsequent charge.
 - The charging connector terminal is already sealed, but using the cap is highly recommended to protect from seawater.
 - The charging connector cap II is for protection of the charging connector terminal and is waterproof.
 - Do not leave the battery and the charger in temperatures above 30°C (86°F) or in direct sunlight.



How to operate

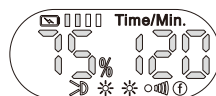


Turning-on

When the NEO is initially activated, by pressing the power button, the wide beam is turned on with normal mode.

EF mode

Hold down the power button for about a second. EF mode starts up with blinking of the output amount display, and the NEO becomes the standby state with low brightness of about 100 lumen. To back to the normal mode, hold down the power button for about a second again.



Indicating EF mode turns on

NOTE

EF mode irradiation

- The EF mode utilizes a sensor which receives a signal from the camera's flash via a fiber optic cable and irradiates short duration flash.
- Please make the setting of the camera the forced emission of light mode of the built-in flash.
- The EF mode supports rapid shooting. But the speed is up to the interval of the emission of the built-in flash of the camera.
- The EF mode irradiation does not support automatic exposure.
- For the photography by the correct exposure, please control in irradiation, ISO speed, diaphragm stop and shutter speed.
- The confirmation of the setting by the prior test photography is recommended.

Output adjustment by power button

The output circulates in order of [25%] > [50%] > [75%] > [100%], each time the power button is pressed.

Output adjustment by minus/plus adjustment buttons

The output decreases by increments of 1% by pressing the minus adjustment button(-). By holding down the button, the output is fast forwarded to 0%.

The output increases by increments of 1% by pressing the plus adjustment button(+). By holding down the button, the output is fast forwarded to 100%.

Turning-off

Hold down the power button for about 2 seconds.

NOTE

This product is designed to memorize the output amount when turned off, and turns on at the same amount the next time. But the setting of the EF mode is not applicable.

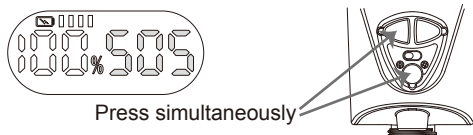
Lock lever

Slide a lock lever to prevent erroneous lighting.

SOS signal

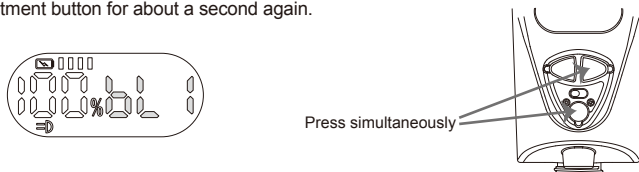
SOS signal* starts up by holding down the both of the power button and the minus adjustment button for about 2 seconds. To back to the state before, hold down the both of the power button and the minus adjustment button for about a second.

*Morse code: [short x3] > [long x3] > [short x3] > [interval] repeatedly



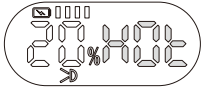
Blink mode

Blink mode starts up by holding down the both of the power button and the plus adjustment button for about 2 seconds. To back to the state before, hold down the both of the power button and the plus adjustment button for about a second again.



High temperature protection mode

When the light head becomes over 55°C(131°F), the output amount decreases to 20% of maximum automatically. The [Hot] warning is displayed on the LCD panel. When the function engages, turning off the NEO and cooling down the light head is recommended. Please be careful not to touch the light head with bare hands, as it is very hot. When the temperature becomes below 45°C(113°F), the NEO goes back to normal mode.



CAUTION - This product is not usable in the air. Only an operation check, please.

Safety mode

When the battery power is almost depleted, the output amount drops automatically to 20%, then battery warning begin to blink. The remaining time [10min] is displayed on LCD, and starts count down. Output adjustment is not possible when the NEO entered safety mode.

CAUTION

- If the NEO enters safety mode, start surfacing immediately.
- Please note that the remaining burn time display may differ from the actual burn time due to the battery condition or the circumstances such as the surrounding water temperature.

Conversion system

As for this product, specifications change is possible by replacing the light head or the body. But each function is limited by the combination. Please confirm compatibility by the following list if you want to replace the light head or the body of NEO. And please refer to a dealer nearby.

FIX NEO Light Head/Body Compatibility

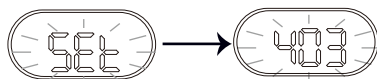
○:Usable △□:Refer service to technician ×:Not usable

	NEO Light Head								
	Mono Wide (except 4030)			SWR/SW			4030		
	Lighting	EF mode	Remote	Lighting	EF mode	Remote	Lighting	EF mode	Remote
Body EF II	○	○	×	×	×	×	○	○	×
Body DX II (Blue logo)	○	×	○	○	×	○	○	×	○
Body DX II (White logo)	○	×	○	○	×	○	□	×	○
Body DX (Old)	△	×	○	△	×	○	△	×	○

△:rewrite program or replace a circuit board □:rewrite program

When you converted the light head or the body, please change the program of the NEO by following procedures.

1. Hold down the power button for approximately 10 seconds.
2. A signal of [SET] flashes on the LCD panel. After several seconds, the tag of light head flashes as below.
3. Press the adjustment button(plus or minus) to choose the program of replaced light head.
4. Then press the power button, a new function program is confirmed.



FIX NEO specifications

Tag	LCD	FIX NEO Lights
403	403	Premium 4030
300	300	3000 DX II, 3000 DX
250	250	2500 DX, Premium 2200 DX II, Premium 2200 DX
200	200	2000 DX
120	120	1200 DX S, 1200 DX
SW	SW	1000 DX SW II, 1000 DX SW, 1200 DX SW
SWR	SWR	2000 DX SWR
BLU	BLU	1200 DX BLUE
15S	15S	Premium 1500 DX SWR II, 1500 DX SWR II, 1500 DX SWR

NOTE - When a signal of [SET] has flashed on by wrong operation, press the power button once for reset.

Maintenance

O-ring

The NEO light is sealed by the exclusive O-rings. Two O-rings of the main body must do maintenance by user. When you do not use the NEO for a long time, please apply a thin coat of bundled O-ring grease to the O-rings. As well, replacement of the O-rings every year is recommended.

CAUTION

- Use the bundled O-ring remover when you remove the O-rings. Do not use sharp tools such as the edge of scissors or knife.
- Apply a thin coat of the bundled O-ring grease to prevent friction or deterioration of the O-rings. Make sure that there is no sand, small lint or hair. Be careful not to apply too much O-ring grease as it may attract more lint or dust.
- Do not use if there are any small cuts or cracks on the O-ring surface. Replace with spare O-ring immediately.
- Make sure that there is no sand, small lint, hair, scratches or cracks on the O-ring groove and the O-ring contact surface.
- Make sure the O-ring is uniform with no twists or bulges, when you install the O-ring to the groove.
- Always perform checks of O-ring or O-ring groove and O-ring grease every time you remove the light head.

Pre-dive

The leakage check is strongly recommended. Before dive, submerge the product in a tub or bowl filled with water. Take the product out of the water at 3 seconds, 30 seconds and 3 minutes intervals. And open the light head to make sure that there is no water inside.

Care and storage

1. Submerge the light into fresh water for about 10-20 minutes before opening the light head. Also press all buttons several times and wash off the salt around it.
2. Rinse with slow flowing water. Do not use high pressure water from one direction as it may cause flood.
3. Wipe off water with a soft dry cloth. Do not dry in direct sunlight or dry with a dryer or stove as it may cause failure, deformation or damage.
4. Apply a thin coat the O-ring grease and store. Replacing with new O-ring every year is recommended.
5. Storage avoid of extreme high temperature and humidity, direct sunlight or extreme cold temperature.
6. Do not use any organic solvents such as alcohol, benzene or thinner or neutral detergents as it may cause deformation or damage.



If residual salt dries, the salt becomes crystals and does not dissolve in water. The crystallized salt may occasionally push up the O-ring and causes flood. Make sure to submerge in fresh water to wash out the salt.

In case of flood

The circuit board location of this product is the protection structure to minimize the damage in case of flood. However, if you recognized or suspected flood, immediately stop using this product and contact your local retailer for service.

Service

Regular overhaul is recommended every 1-2 years, regardless of the frequency of use of this product. Please ask Fisheye Customer Service or local retailer.